

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】 関東財務局長
【提出日】 平成24年8月13日
【四半期会計期間】 第78期第1四半期(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
【会社名】 株式会社ホウスイ
【英訳名】 HOHSUI CORPORATION
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高橋昌明
【本店の所在の場所】 東京都中央区築地五丁目2番1号
【電話番号】 東京(03)3543-3536

【事務連絡者氏名】 執行役員 管理本部副本部長 小林留一
【最寄りの連絡場所】 東京都中央区築地五丁目2番1号
【電話番号】 東京(03)3543-3536
【事務連絡者氏名】 執行役員 管理本部副本部長 小林留一
【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第77期 第1四半期連結 累計期間	第78期 第1四半期連結 累計期間	第77期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(百万円)	10,157	10,967	43,628
経常損益(百万円)	114	106	505
四半期(当期)純損益(百万円)	50	49	199
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	60	57	256
純資産額(百万円)	5,303	5,385	5,499
総資産額(百万円)	12,497	16,577	14,271
1株当たり四半期(当期)純損益 金額(円)	0.60	0.60	2.38
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	40.9	31.0	36.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標の推移については記載していない。
2. 売上高には消費税を含んでいない。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州における財政不安を背景とした世界経済の先行き不安や円高、電力の安定供給への懸念などにより、景気の見通しは依然として不透明な状況にあるものの、復興需要を背景として緩やかに回復しつつあります。

このような経済状況のもと、水産・食品業界におきましては、原発事故の放射能汚染による食材の厳しい選択や消費者の節約志向が続く厳しい経営環境にありました。当社グループは、顧客のニーズに迅速に対応するとともに増強してきた設備やグループの持つ機能を最大限に活用して収益の確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高109億67百万円（前年同期比8億9百万円増）、営業利益83百万円（前年同期比7百万円減）、経常利益1億6百万円（前年同期比8百万円減）、四半期純利益は49百万円（前年同期比0百万円減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、入庫量は前年に比べ若干減少したものの、景気の停滞などにより荷動きが悪く、出庫量が大幅に減少したため、在庫量の増加に伴い保管料収入が増加しました。その結果、売上高は10億50百万円（前年同期比59百万円増）となり、営業利益は65百万円（前年同期比19百万円増）になりました。

水産物卸売事業セグメント

水産物卸売事業セグメントは、リテールサポート部門における前年度来の新規顧客対応の成果等により前年同期比売上高は増加いたしましたが、販売にかかる経費増により利益は減少しました。その結果、売上高は99億16百万円（前年同期比7億50百万円増）となり、営業利益は18百万円（前年同期比27百万円減）になりました。

(2) 財政状態の分析

資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比23億6百万円増加し、165億77百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産、売上債権の増加等により前期末比6億14百万円増加の75億12百万円となりました。

固定資産については、冷蔵倉庫事業セグメントの設備投資等により、前期末比16億91百万円増加し、90億64百万円となりました。

負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比24億20百万円増加し、111億91百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前期末比25億21百万円増加し、93億99百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の返済等により、前期末比1億1百万円減少し、17億92百万円となりました。

純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、第1四半期累計期間純利益が49百万円となったものの、株主配当金の支払1億67百万円等により、前期末比1億14百万円減少の53億85百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	83,790,000	83,790,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数1,000株
計	83,790,000	83,790,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	83,790,000	-	2,485,500	-	551,375

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿により記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 42,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 83,651,000	83,651	-
単元未満株式	普通株式 97,000	-	-
発行済株式総数	83,790,000	-	-
総株主の議決権	-	83,651	-

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社ホウスイ	東京都中央区築地 五丁目2番1号	42,000	-	42,000	0.05
計	-	42,000	-	42,000	0.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人和宏事務所による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位 : 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	219	215
受取手形及び売掛金	4,098	4,143
商品及び製品	1,170	1,853
原材料及び貯蔵品	3	15
関係会社預け金	1,270	1,142
繰延税金資産	47	47
その他	107	115
貸倒引当金	20	19
流動資産合計	6,898	7,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,407	11,435
減価償却累計額	6,897	6,984
建物及び構築物(純額)	4,510	4,451
機械装置及び運搬具	3,004	3,007
減価償却累計額	2,188	2,229
機械装置及び運搬具(純額)	816	778
工具、器具及び備品	234	240
減価償却累計額	181	180
工具、器具及び備品(純額)	53	59
土地	1,166	1,166
リース資産	318	334
減価償却累計額	126	134
リース資産(純額)	191	200
建設仮勘定	13	1,792
有形固定資産合計	6,751	8,447
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	151	150
長期貸付金	6	6
繰延税金資産	162	161
その他	134	134
投資その他の資産合計	455	453
固定資産合計	7,373	9,064
資産合計	14,271	16,577

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,668	4,575
1年内返済予定の長期借入金	222	185
1年内返済予定の関係会社長期借入金	115	107
短期借入金	-	2,300
関係会社短期借入金	830	1,350
リース債務	61	66
未払法人税等	183	49
賞与引当金	72	21
役員賞与引当金	14	-
その他	709	742
流動負債合計	6,877	9,399
固定負債		
長期借入金	264	230
関係会社長期借入金	134	109
リース債務	129	133
退職給付引当金	863	837
役員退職慰労引当金	128	0
本社移転損失引当金	147	147
長期預り保証金	6	6
長期未払金	-	117
負ののれん	219	210
固定負債合計	1,893	1,792
負債合計	8,771	11,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,222	1,222
利益剰余金	1,549	1,432
自己株式	1	1
株主資本合計	5,255	5,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	0
その他の包括利益累計額合計	1	0
少数株主持分		
純資産合計	5,499	5,385
負債純資産合計	14,271	16,577

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	10,157	10,967
売上原価	9,320	10,000
売上総利益	837	966
販売費及び一般管理費	745	883
営業利益	91	83
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	9	9
雑収入	20	20
営業外収益合計	31	30
営業外費用		
支払利息	7	8
雑支出	0	0
営業外費用合計	7	8
経常利益	114	106
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	114	105
法人税等	54	47
少数株主損益調整前四半期純利益	60	58
少数株主利益	10	8
四半期純利益	50	49

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	60	57
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50	49
少数株主に係る四半期包括利益	10	8

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しています。

【追加情報】

(役員退職慰労引当金)

当社は従来、役員の退職慰労金の支出に備えて、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上していましたが、平成24年6月開催の定時株主総会において役員退職慰労金制度廃止に伴う退職慰労金打ち切り支給を決議しました。また、一部連結子会社についても同様に役員退職慰労金制度を廃止しております。

これに伴い、打ち切り支給による役員退職慰労金相当額117百万円につきましては、「役員退職慰労引当金」残高を取崩し、固定負債の「長期未払金」に計上しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	156百万円	152百万円
負ののれんの償却額	9	9

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日至 平成23年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	配当の原資	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年5月12日 取締役会	普通株式	167	利益剰余金	2	平成23年3月31日	平成23年6月10日

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日至 平成24年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	配当の原資	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	167	利益剰余金	2	平成24年3月31日	平成24年6月12日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	991	9,166	10,157	-	10,157
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	5	26	26	-
計	1,012	9,171	10,184	26	10,157
セグメント利益	45	45	91	-	91

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,050	9,916	10,967	-	10,967
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	4	29	29	-
計	1,075	9,921	10,996	29	10,967
セグメント利益	65	18	83	-	83

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	0円60銭	0円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	50	49
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	50	49
普通株式の期中平均株式数(千株)	83,748	83,747

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年5月14日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....167百万円

(口) 1 株当たりの金額.....2 円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年6月12日

(注) 平成24年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行う。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月10日

株式会社ホウスイ
取締役会 御中

監査法人 和宏事務所

代表社員	公認会計士	塩崎 省三 印
業務執行社員		
代表社員	公認会計士	入沢 順二 印
業務執行社員		
代表社員	公認会計士	本宮 伸也 印
業務執行社員		

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ホウスイの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ホウスイ及び連結子会社の平成24年6月30日現在の

財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項
がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社
(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。